

NEWS RELEASE
2016年3月10日

安川情報システム株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
SAP ジャパン株式会社

安川情報システム、社内基幹業務システムに SAP® S/4HANA と CTC のクラウド基盤を採用
SAP インフラ構築・運用ノウハウを強化し、戦略的な SAP ソリューション導入を拡大

安川情報システム株式会社（本社：北九州市八幡西区、代表取締役社長：諸星 俊男 以下：安川情報システム）は、経営改革の一環で、自社の基幹システムとして SAP ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：福田 譲、以下：SAP ジャパン）が提供する次世代 ERP の SAP® S/4HANA を採用し、同システムへ移行するにあたり、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：菊地 哲、以下：CTC）が提供する基幹系特化型クラウドサービス「CUVICmc2」を採用します。2016年夏から構築を開始し、来年春からの利用を予定しています。

安川情報システムは安川電機の情報関連グループ会社として、設立以来約 40 年に渡り、安川電機およびグループ会社の基幹システムの構築・運用を担当しています。2011 年から同社が進める ERP グローバル展開・グループ展開において、独自テンプレートの開発やコード体系の標準化などを実施しました。SAP® ERP を約 2 年間でアジア 6 拠点に展開し、現在までに国内外 14 拠点への展開を完了しています。また業務運用支援として、SAP® Solution Manager の導入も進めており、安川情報システムはこの基幹システム構築・運用のノウハウを活かし、主に製造業のお客様向けに SAP® ERP 移行や関連システムとの連携等のサービスを提供してまいります。今後は更なる運用支援に向けた SAP 認定コンサルタントが常駐するグローバルサービスセンター（コールセンター）の開設も予定しています。

CTC が提供する基幹系特化型クラウドサービス「CUVICmc2」は、SAP ソリューションを始めとする基幹系システムに特化したクラウドサービスです。パフォーマンスに対する性能保証、高セキュリティ、実使用量による従量課金が特長のパブリッククラウドで、20 から 50% のコスト削減が期待できます。

今回安川情報システムは、クラウド上に SAP® S/4HANA を構築することで、インフラへの投資コストを抑制し、アプリケーションへの戦略的投資に集中します。また、本取り組みについてノウハウを蓄積し、アプリケーション開発・運用と合わせて CUVICmc2 を使用した SAP ソリューションを展開していくことで、お客様の競争力強化につながる IT システムを提供してまいります。

※SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。

※その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

<本発表に関するお問合せ>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 広報部
TEL: 03-6203-4100
Mail: press@ctc-g.co.jp